

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名：大規模災害対応指揮運用・遠距離中継送水訓練

自治体名

飯豊町

消防団名

飯豊町消防団

1 事業の目的・必要性

大規模な豪雨災害を経験し得た反省から、今後起こり得る大規模災害に対応するために、必要となる資機材を増強し、現場指揮運用、遠距離中継送水技術を中心とした、知識、技術を深め、消防団全体の大規模災害への組織力、対応力を強化。将来に向けた幅広い消防団活動を展開すること。

2 事業内容

5月12日 事業計画検討会議（団幹部） 1回／19名
7月 2日 外部講師による機関講習（座学・実技） 1回／71名
8月24日～10月10日 中継送水訓練 16回／302名
10月2日～11月10日 指揮運用訓練 5回／78名
11月12日 大規模災害想定訓練 1回／152名
1月13日 事業検証会議（団幹部） 1回／18名

3 事業成果

事業検証会議では多くの団員が今後の訓練の重要性を強く意識し、多様化する災害に対応する訓練の必要性と基礎的訓練をバランスよく継続することが求められました。

本事業を実施したことにより、大規模災害に対応する足掛かりとして、資機材の整備、ポンプ運用、指揮運用技術の向上を図ることが出来たことは勿論のこと、団員の消防団活動全般や災害対応に対する意識改革にもつながり、組織力向上に向け大きな成果が表れました。

4 目標達成状況

指標	単位	目標値	実測値	備考
事業計画検討会議	回数	1回	1回	
訓練参加人数	人数	200人	640人	
機関講習	回数	1回	1回	
中継送水・指揮運用訓練	回数	5回	21回	
大規模災害想定訓練	回数	1回	1回	
事業検証会議	回数	1回	1回	

5 その他参考情報

飯豊町消防団Facebook

<https://www.facebook.com/Iide.Town.Volunteer.FireCorps/>

